

令和6年度事業報告

第6次環境基本計画やデコ活の推進、富山県環境基本計画、富山県カーボンニュートラル戦略など、国及び富山県の方針・施策を踏まえ、地域における脱炭素、環境保全活動をより一層推進するため、県民やNPO法人・団体、学校、企業、行政等との連携・協働による各般の事業を展開した。

具体的には「協働推進事業」、「環境教育推進事業」、「普及・啓発事業」、「地球温暖化対策推進事業」及び「エコアクション 21 地域事務局事業」の5つの事業を柱とし、県民・団体等の行動変容に向けた周知・啓発、企業による脱炭素・環境経営の導入・促進のための支援などを実施した。各事業の詳細は下記のとおりです。

1 協働推進事業【11,700千円 財源：県委託料、県・市補助金、自主財源】

県民やNPO法人・団体、企業、行政等が幅広く連携し、環境保全活動を協働して展開する基盤として、環境ネットワークの形成とその拡大を推進した。

(1) 県民運動等の推進【3,300千円】

循環型・脱炭素社会の構築を目指し、県民・企業・行政が一体となった県民総ぐるみの運動を展開した。

① 環境とやま県民会議の運営

ア 環境とやま県民会議総会の開催

循環型・脱炭素社会の構築を目指し、県民、事業者、報道機関、行政等の協力のもと、県民総ぐるみでエコライフスタイルを推進するため、総会（書面）を開催し、活動の実施状況や活動計画を共有し、協働での取組みを推進した。

イ 環境とやま県民会議啓発イベント「エコフェスとやま」の開催

とやま環境フェア 2024 に併せて、環境とやま県民会議の啓発イベントとして「エコフェスとやま」を実施した。また、同イベント内で実施した「環境保全に係る表彰式」において、環境とやま県民会議会長表彰を実施した。

<イベント概要>

環境とやま県民会議イベント「エコフェスとやま」

- ・ 開催日等 令和6年10月12日（土）、富山産業展示館テクノホール 西館
- ・ 参加者 構成団体等 87名
- ・ 内容 環境保全に係る表彰式
啓発イベント～CHIKOさんがきく!教えてデコ活応援隊長!!～

<表彰概要>

環境とやま県民会議会長表彰

- | | |
|----------------------|--------------|
| ごみゼロ・リサイクルの推進に該当する活動 | 1団体、1事業者 |
| 地球温暖化対策の推進に該当する活動 | 2個人、1団体、1事業者 |
| とやまエコ・ストア制度に関する活動 | 1事業者 |

※ 表彰式では、富山県環境部門功労表彰（1団体、1個人）、とやまエコ・ストア連絡協議会会長表彰（5事業者）、エコアクション21永年継続事業者感謝状贈呈（5事業者）の表彰等も実施。

② 富山県県土美化推進県民会議の運営

ア 富山県県土美化推進県民会議総会の開催

県民総ぐるみの「県土美化推進運動」を展開し、うるおいとやすらぎのある住みよい郷土をつくるため、総会を開催し、活動の実施状況や活動計画等を共有し、協働での取組みを推進した。

- ・ 開催日等 令和6年4月22日（月）、富山国際会議場2階 多目的会議室
- ・ 参加者 構成団体等 49名

イ 県土美化推進功労者表彰式の開催

総会の中で、地域の清掃美化活動に貢献し、他の模範となる個人や団体を県土美化推進功労者として表彰した。

- ・ 受賞者 知事表彰：3個人、2団体、会長表彰：7個人、10団体

③ 「みんなできれいにせんまいけ大作戦」の展開

富山県の貴重な財産である美しい海岸を保全するため、沿岸市町及び上流エリアの県民、事業者、行政が連携して県内各所で一斉清掃活動を展開する「みんなできれいにせんまいけ大作戦」を展開した。

- ・ 実施期間 令和6年6月1日（土）～10月31日（木）
- ・ 参加人数 33,979人【R5年度：33,582人】

ア 海岸清掃イベント（キックオフ）の開催

- ・ 名称 みんなできれいにせんまいけ大作戦 in 射水市六渡寺海岸 2024
- ・ 開催日等 令和6年7月7日（日）、射水市六渡寺海岸
- ・ 参加者 約300人

イ 運営支援・普及啓発

県内各市町村の清掃美化活動に対し、活動資材の提供等の支援を実施した。

活動予定を記載したちらしを配布するとともに、ウェブサイト等で周知した。

（2）環境ネットワーク形成事業【8,400千円】

県内企業、関係団体等の環境保全活動の情報を発信するウェブサイト「エコノワとやま」の活用を図るとともに、県民、NPO法人、企業、行政等と連携した環境保全活動の主体のネットワーク化や事業の協働化に取り組んだ。

① 環境保全活動支援事業

企業とNPO法人等の連携・協力を推進するため、情報提供や意見交換の場を提供するとともに、環境イベントへの参画を支援した。また、環境保全意識の高揚、知識の普及啓発及び将来の指導者育成を図るため、企業、学校、団体等の要請に応じ、環境保全活動の専門家や地球温暖化防止活動推進員等を講師として派遣した。

ア 「とやま環境フェア2024」への参加支援

企業・団体等のブースを設けて出展を募集し、取組みの発信を支援した。

イ 出前講座の実施

実施回数：11回、受講者数：884名【R5年度：7回、372名】

② 市町村との環境パートナーシップ事業

市町村とのパートナーシップを形成し、環境保全活動における連携・協力を推進するため、市町のエコライフ・イベント等の開催支援や財団としての参加、とやま環境フェア2024への出展の機会の提供、「とやまデコ活応援キャンペーン」等の普及啓発を実施し、意識の高揚を図った。

参加等人数：15,861名【R5年度：13,916名】

③ 食品ロス削減アクション拡大事業

手付かず食品の削減に有効なサルベージ・パーティ（家で余っている食材を持ち寄って調理すること）の普及のため、県の認定を受けたサルベージ・サポーターの活動支援を行うとともに、取組み拡大に向けた普及啓発を行った。

サルベージ・パーティの実施支援

実施回数：7回、参加者数：112名【R5年度：8回、141名】

④ フードドライブマッチング推進事業

家庭での食品ロス削減の取組みを促進するため、未利用食品を福祉団体等へ寄付するフードドライブの実施を関係団体などに呼びかけ、フードドライブの実施を支援するとともに、その結果をウェブサイト等で普及啓発した。

フードドライブの実施支援

実施回数：90件、参加団体数：43団体【R5年度：103件、参加団体数：66団体】

⑤ 豊かな地下水保全事業

豊かで清らかな地下水を県民共有の貴重な財産として、将来にわたり守り育てていくため、消雪設備の節水や名水・湧水の保全など地域に根差した地下水保全活動を担う「地下水の守り人」について、新たな担い手の養成講座を開催するとともに、地下水保全や防災井戸に関する講習会を開催するなど活動を支援した。

ア 地下水の守り人養成講座の開催

- ・ 開催日等 令和6年10月31日（木）、富山県民会館
- ・ 内 容 富山の地下水、消雪装置の維持管理について
「地下水の守り人」の活動内容について
- ・ 参 加 者 実会場12名、オンライン2名 合計14名【R3年度：19名】

イ 地下水の守り人技術講習会の開催

- ・ 開催日等 令和6年11月18日（月）、富山県防災危機管理センター
- ・ 内 容 富山県の地下水保全、消雪装置の維持管理、防災井戸の視察
- ・ 参 加 者 14名【R5年度：25名】（とやま水環境と脱炭素を考えるセミナーと併催）

ウ 地下水の守り人の活動支援

地下水の守り人の活動情報を財団機関紙やウェブサイトで紹介するとともに、消雪設備維持管理用の器具等の貸出し等、活動を支援した。

⑥ 環境保全に関する相談事業

環境保全相談室を設置し、環境保全活動・環境教育の具体的な行動を促すため、清掃活動や地球温暖化、活動支援等に関する相談に応じた。

⑦ 環境保全活動活性化事業

ア 環境関係法規の手引の作成・頒布（収益事業）

環境保全活動を活性化し、企業等の取組みを支援するため、「令和6年版環境関係法規の手引」を作成し、有償頒布した。

頒布先等：県内企業、団体等 85 冊【R5 年度：92 冊】

イ 脱炭素経営に係るセミナーの開催

事業者における脱炭素化に向けた取組みを推進するため、関係機関・団体等と連携し、脱炭素経営に係るセミナーを開催した。

企業の脱炭素経営に係る「CO₂排出量算定入門セミナー」

- ・ 開催日等 令和7年3月18日（火）、富山県民会館
- ・ 参加者 14 事業者、団体【R5 年度：—】
- ・ 内 容 脱炭素経営に取り組む必要性、支援制度について企業経営の観点から解説

⑧ 行事等への後援・協賛

県、市町村、地域活動団体等が主催する行事等への後援・協賛を実施した。

後援・協賛・共催事業件数：17 件【R5 年度：16 件】

2 環境教育推進事業【12,245 千円 財源：県委託料、自主財源】

環境保全活動の継続と拡大を図るため、学校や地域社会で環境保全への理解を深め、取組意欲の高揚を図る環境教育を推進するとともに、各団体等が実施する活動を支援した。

（１）とやま環境未来チャレンジ事業【3,500 千円】

小学4年生を対象に、エコライフの理解・実践・定着を図ることを目的に、小学校に地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣し、授業を行う「とやま環境チャレンジ10」を実施した。

- ・ 開催時期 令和6年6月～12月
- ・ 実施校数 県内全市町村 小学校 67 校【R5 年度：68 校】
- ・ 参加者数 児童 3,039 名【R5 年度：2,854 名】
- ・ 内 容 小学校教諭や推進員による授業、児童・家族による地球温暖化防止や3Rの推進、食品ロス削減等のための取組みの実践（10項目、4週間）

また、地球温暖化対策や食品ロス削減などエコライフに関する副読本を作成、全小学4年生児童に配付し、学校での授業及び実践活動を支援した。

（２）はじめてのエコライフ教室【前掲 1. 協働推進事業（2）環境ネットワーク形成事業と兼ねる】

幼児期から家族ぐるみでエコライフの理解・実践・定着を図ることを目的に、幼稚園・保育所等に推進員を講師として派遣し、授業を行う「はじめてのエコライフ教室」を実施した。

- ・ 開催時期 令和6年7月～12月
- ・ 実施園数 13園【R5年度：12園】
- ・ 参加者数 幼児 350 名、保護者 81 名【R5 年度：389 名、97 名】
- ・ 内 容 省エネやごみ分別等のエコライフの説明、児童・家族によるエコライフの取組み実践（3項目、1週間）

(3) こどもエコクラブの支援【前掲 1. 協働推進事業(2) 環境ネットワーク形成事業と兼ねる】

こどもエコクラブ富山県事務局として、エコクラブの育成及び活動を支援した。

- ・ 登録クラブ数 35クラブ【R5年度：39クラブ】
- ・ メンバー数 998名【R5年度：1,059名】
(3歳～小学3年生、中学1年～高校1年生)

(4) スマートムーブ推進事業

脱炭素につながる移動、エコドライブ・ゼロドライブのほか、再配達防止の定着化を図るため、とやま環境フェア2024会場内で、関係機関と連携するキャンペーンを展開した。気軽にエコドライブを体感できるシミュレータを活用したエコドライブ体験会を開催し、エコドライブの一層の定着・拡大を推進した。

- ・ 開催日 令和6年10月12日(土)、13日(日)
- ・ 開催場所 富山産業展示館 テクノホール西館
(とやま環境フェア2024会場内)

(5) 自然解説事業【8,745千円】

自然保護意識の高揚を図るため、県内4地区に自然解説員(ナチュラリスト)を配置し、自然解説を実施した。また、活動業務打合せ会及び活動業務報告会を開催するとともに、ナチュラリストの資質向上及び支援を目的とした研修会を開催した。

① 自然解説

配置期間：令和6年4月27日(土)～11月3日(日・祝)

配置場所及び人数一覧：下表のとおり

配置場所	ねいの里	頼成の森	称名地区	立山地区		計
				室堂平	弥陀ヶ原	
配置人数	62名	63名	65名	138名 (396名)	108名 (311名)	436名 (897名)

※ () は、配置延べ人数

【R5年度：計438名 (895名)】

② 活動業務打合せ会

- ・ 開催日等 令和6年4月13日(土)、富山県総合情報センター
- ・ 参加者 140名、後日オンライン配信あり

③ 活動業務報告会

- ・ 開催日等 令和6年12月14日(土)、富山県民会館304号室
- ・ 参加者 60名、後日オンライン配信あり

④ 研修会

第1回(新) ナチュラリスト制度創設50周年記念イベント)

- ・ 開催日等 令和6年6月22日(土)、アイザック小杉文化ホールラポール
- ・ 参加者 73名、後日オンライン配信あり
- ・ 内容 講演「富山の自然を見つめて」
講師 フリーカメラマン 濱谷一郎氏
トークショー「未来のために護りたいもの」

第2回

- ・ 開催日等 令和6年8月23日（金）、立山室堂平一帯
- ・ 参加者 36名（ほか講師2名、スタッフ5名）
- ・ 内 容 「立山室堂平の地形と植生について」
講師 太田道人氏、増渕佳子氏

第3回

- ・ 開催日等 令和6年12月14日（土）、富山県民会館
- ・ 参加者 60名、後日オンライン配信あり
- ・ 内 容 講演「送粉者達が創るお花畑の景観」
講師 富山大学理学部教授 石井博氏

3 普及・啓発事業【4,610千円 財源：県負担金、自主財源】

啓発イベントを開催し、環境保全意識の高揚とエコライフ実践の拡大を図った。

ウェブサイトやメールマガジン、機関紙「きょうせい」等の媒体により、環境保全・地球温暖化防止活動の情報を発信し、先駆的な取り組みを実施している団体・企業等を紹介するとともに、環境保全に関する普及啓発を行った。

（１）啓発イベント等実施事業【4,000千円】

① 「とやま環境フェア」の開催（富山県、富山市、環境とやま県民会議と共催）

新しい国民運動「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）の普及啓発、県民による実践を目指し、脱炭素型社会・循環型社会づくりや自然との共生に向けた取り組み事例を紹介するとともに、カーボンニュートラル推進や3R推進を捉え、環境配慮の取り組み等を楽しみながら体験・体感するとやま環境フェアを開催した。

開催にあたっては、主催者、主要団体等で構成する開催委員会の元に設置された実行委員会を3回開催し、事業計画や円滑な推進について審議した。

- ・ 開催期日 令和6年10月12日（土）、13日（日）
- ・ 開催場所 富山産業展示館 テクノホール西館
- ・ 来場者数 一般県民等 約6,500人【R5年度：約12,200人】
- ・ 出展者数 65企業・団体・NPO・学校・行政機関等
【R5年度：61団体・企業・NPO・学校・行政機関等】

・ 内 容

<出展者ブース>

デコ活「くらしの10年ロードマップ」にある7分野でゾーニングを行い、次世代自動車の展示、わくわくエコスクール、0円服の交換会、ソーラーカーポートの展示、太陽光や蓄電池導入の無料診断、宅配ボックスの展示、再配達削減に向けた宅配事業者の取り組み紹介、カーボンニュートラル ACTION パーク、環境保全活動・生物多様性の紹介、工作や省エネ実験等エコ体験、ミライ地球ガチャ、地球温暖化による気象の紹介、食品ロス削減の紹介、おもちゃ病院等

<ステージイベント>

環境とやま県民会議イベント「エコフェスとやま」の開催（再掲）、出展者PRタイム、パフォーマンスショー、環境系エンターテイナーのクイズショー、有名俳優トークショー、よしもと住みます芸人のデコ活勉強会、わくわく抽選会

② 環境関連イベントへの出展・啓発

NPO法人、学校等が実施する環境関連イベントにおいて、県土美化や地球温暖化防止（デコ活）の普及啓発を行った。

（２）環境保全・温暖化防止活動情報発信事業【610 千円】

① ウェブサイトにおける情報提供

ウェブサイトにおいて財団事業、イベント案内など環境関連情報を発信した。

② メールマガジン「とやまエコ通信」の配信

環境関連イベントの情報、国・県等からのお知らせ、募集事項などの情報を掲載したメールマガジンを毎月配信した。

- ・ 配信回数 毎月末12回、号外4回
- ・ 配 信 先 県民、企業、市町村、関係団体等 460件【R5年度：459件】
- ・ 配信内容 環境関連イベントの情報、国・県・関係団体等からのお知らせ（周知、案内、募集、啓発）等

③ 「エコノワとやま」による情報発信

県内のNPO法人等の環境保全活動に関する情報を集約・発信して環境保全活動を支援する参加型のウェブサイト「エコノワとやま」を運営した。

掲載団体数 152 団体【R5 年度：149 団体】

④ 機関紙の発行

財団の事業内容、県内の環境活動団体の紹介、環境に関する情報提供を行うため、機関紙「きょうせい」を発行した。

- ・ 発行回数 年2回（23 号8月、24 号1月）
- ・ 発行部数 2,000 部、ウェブサイトに掲載
- ・ 配布先 県、市町村、出捐企業、賛助会員、関係団体、学校等

4 地球温暖化対策推進事業【154,330 千円 財源：県・民間補助金、自主財源】

富山県地球温暖化防止活動推進センターとして、地球温暖化防止活動アドバイザーを配置し、地球温暖化対策や省エネに関する相談窓口の設置及び温暖化防止の普及啓発、地球温暖化防止活動推進員の活動や事業者における脱炭素化を推進するためのセミナー開催等を支援した。

また、新たに2050年カーボンニュートラルの実現に向け、住宅等への再生可能エネルギーの導入を支援した。

（１）地球温暖化防止活動推進センター事業【13,000 千円】

① 地球温暖化防止活動アドバイザーの設置事業

地球温暖化防止に向けて、県民及び事業者等への啓発や指導助言、調査業務を行った。

② 地球温暖化防止活動推進員活動支援事業

県から委嘱された地球温暖化防止活動推進員のニーズを踏まえた研修会の開催、情報提供及び資材・資料の提供等を通じて、活動を支援した。

<推進員研修>

- ・ 開催回数 3回（会場、オンライン、動画配信）
- ・ 参加者数 延べ119名【R5年度：4回、延べ149名】
- ・ 内 容 デコ活について（動画配信）
とやま環境チャレンジ10について
富山県版「地球温暖化すごろく」体験
気候変動の現状と対策「地球温暖化と富山の異常気象」
講師 富山大学都市デザイン学部長 安永数明氏

③ とやま環境未来チャレンジ事業（再掲）

④ 地球温暖化防止活動・脱炭素化促進事業（（一社）地球温暖化防止全国ネット補助事業）

ア 地域における地球温暖化防止の基盤づくり

富山県から指定を受けた「富山県地球温暖化防止活動推進センター」としての基盤強化を図るため、地球温暖化防止に関する情報の集積や地球温暖化防止に資する人材育成等の事業を行った。

（新）イ 地域脱炭素促進事業

地域脱炭素や国民運動「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）を進める市町村等の活動、企画・運営等の活動を支援した。

（新）ウ 気候変動教育推進事業

気候変動教育に関する自治体、学校、団体、有識者等を交えた勉強会等を開催するとともに、地域の資源・人材を活用した学習プログラムの実施、地域の連携体制づくりを支援した。（勉強会2回開催）

エ 事業者における脱炭素化の推進

事業者における脱炭素化に向けた取組みを推進するため、関係機関・団体等と連携し、CO₂排出量算定入門セミナーを開催した。（再掲）

⑤ 環境保全に関する相談事業（再掲）

（2）再生可能エネルギー導入促進事業【141,330千円】

県民や県内企業に対し、自家消費型太陽光発電設備の導入に向けて補助を行った。

また、太陽光発電等の導入促進のため、ウェブサイト、広報誌等での啓発、太陽光発電に関する座談会の開催、市町村と連携した啓発イベントの開催、金融機関と連携した中小企業への周知などを実施した。

- ・ 補助金交付申請受付件数：205件（県民193件、事業者12件）【繰越し5件】
【R5年度：128件（県民120件、企業8件）【繰越し13件】】
- ・ 補助金交付額計：106,536,000円【R5年度：50,548,000円】

5 エコアクション21 地域事務局事業【2,260千円 財源：県・民間委託料、登録認証料収入】

エコアクション21 地域事務局として、制度の普及啓発を図るとともに、事業者の認証・登録を推進した。

(1) エコアクション 21 制度の普及啓発【295 千円】

① 企業・団体等への普及啓発の実施

学識者や関係の事業者団体で構成する「脱炭素・環境経営普及戦略会議」を開催し、脱炭素経営やエコアクション 21 等の環境マネジメントシステムの普及推進に関する検討、普及に向けた協力を依頼した。また、ウェブサイトやメールマガジン等により、制度の普及啓発を図った。

<普及戦略会議>

- ・ 委 員 7 名（学識者、県、商工会議所等、事業者団体）
- ・ 開催日等 第 1 回 令和 6 年 7 月 11 日（木）
第 2 回 令和 7 年 2 月 17 日（月）
- ・ 内 容 地域事務局事業の実施報告及び次期計画、
サプライチェーンでの導入の検討、金融機関をとおした啓発等

② 認証・登録事業者のフォローアップの実施

認証・登録、更新などの手続きの案内、問合せ対応や各種講習会、セミナーの情報提供など、現認証・取得事業者のフォローアップを実施した。

(2) エコアクション 21 認証・登録事業（収益事業）【1,965 千円】

事業者からの審査申込の受付、審査員の選任、審査報告書の受付、認証・登録の可否を審査する判定委員会への送付、中央事務局への判定結果の報告等を行った。

認証・登録事業者数：107 社（累計 181 社）【R5 年度：105 社（累計 176 社）】

(3) エコアクション 21 自治体イニシアティブ・プログラムの推進

富山県と共催で「エコアクション 21 自治体イニシアティブ・プログラム」を実施し、事業者の募集と指導講習を行い、認証・登録を推進した。

- ・ 実施期間 令和 6 年 9 月～令和 7 年 1 月
- ・ 開催回数 5 回（事前セミナー 1 回、講習会 4 回）
- ・ 参 加 者 6 社【R5 年度：8 社】
- ・ 内 容 ガイドラインの説明、認証・登録を目指した指導講習

6 運営体制強化事業【27,447 千円 財源：県補助金、自主財源】

協働推進事業をはじめとする事業について、現状や課題を踏まえ、「意識啓発」から「協働・実践」へと効果的・効率的な展開を図るため、次の事項等について検討、実施した。

- ・ 最新の環境関連情報の収集及び職員的能力形成
- ・ 富山県とも連携のうえ、事業実施に関する報道機関向け情報提供の充実
- ・ 県民、企業等との連携・協働の強化等のため、事業実施に併せたアンケート等によるニーズ把握や事業の検討
- ・ 財政基盤強化のための賛助会費、寄附金等、協力に向けた働きかけの実施
- ・ 迅速、簡便な更新作業による情報発信の強化、スマートフォンでの閲覧やセキュリティ確保などに対応する新たなウェブサイト・システムの導入
- ・ 県民、企業等から頼られる「とやま環境財団」を目指す
- ・ エコアクション 21 認証・登録増に向けた市町村入札加点制度への働きかけの実施

(参考資料 1)

1 会議の開催状況

(1) 理事会

開催日	名 称	開催場所	出席者数	議 題 等
R 6. 4. 1	第 68 回 理事会	(書面)	理事 9 名 監事 1 名	・ 評議員会の開催（書面）の議決について 議決事項 理事の選任について 監事の選任について
R 6. 4. 1	第 69 回 理事会	(書面)	理事 13 名 監事 2 名	・ 評議員会の開催（書面）の議決について 議決事項 代表理事の選任について 常勤の理事に対する報酬等の 額を定める件
R 6. 4. 17	第 70 回 理事会	(書面)	理事 12 名 監事 2 名	・ 評議員会の開催（書面）の議決について 議決事項 理事の選任について
R 6. 6. 4	第 71 回 理事会	富山県民 会館 701 号室	理事 11 名 監事 1 名	・ 5 年度事業報告及び収支決算について ・ 定時評議員会の招集について ・ 理事長及び専務理事の職務の執行状況の 報告の件について
R 7. 3. 18	第 72 回 理事会	富山県民 会館 701 号室	理事 9 名 監事 1 名	・ 6 年度事業報告について ・ 理事長及び専務理事の職務の執行状況の 報告の件について ・ 6 年度収支予算の補正について ・ 7 年度事業計画について ・ 7 年度収支予算について ・ 7 年度資金運用方針について

(2) 評議員会

開催日	名 称	開催場所	出席者数	議 題 等
R 6. 4. 1	第 47 回 評議員会	(書面)	評議員 7 名	・ 理事の選任について ・ 監事の選任について
R 6. 4. 17	第 48 回 評議員会	(書面)	評議員 7 名	・ 理事の選任について
R 6. 6. 24	第 49 回 評議員会	富山県民 会館 701 号室	評議員 6 名 理事 2 名 監事 1 名	・ 5 年度事業報告及び収支決算について

(3) 環境とやま県民会議

開催日	名 称	開催場所	出席者数	議 題 等
R 6. 6. 21	環境とやま県民 会議第 1 回幹事会	(書面)	20 名	・ 5 年度事業報告 ・ 6 年度事業計画
R 6. 7. 3	環境とやま県民 会議総会	(書面)	112 団 体	・ 5 年度事業報告 ・ 6 年度事業計画
R 6. 9. 13	環境とやま県民 会議第 2 回幹事会	(書面)	20 名	・ 6 年度エコフェスとやま実 施要領について ・ 6 年度会長表彰者の選考

R 6.10.12	環境とやま県民 会議イベント「エコ フェスとやま」	富山産業展示館 テクノホール 西館	87 名	・環境保全に係る表彰式 (会長表彰等) ・とやまエコ・ストア連絡協 議会会長表彰 ・EA21 永年継続事業者感謝状 贈呈 ・CHIKO さんがきく!教えて デコ活応援隊長!!
-----------	---------------------------------	-------------------------	------	--

(4) 富山県県土美化推進県民会議

開催日	名 称	開催場所	出席者 数	議 題 等
R 6.4.22	富山県県土美化 推進功労者表彰式	富山国際会議場 多目的会議室	49 名	・富山県県土美化功労者表彰
R 6.4.22	県土美化推進県民 会議総会	富山国際会議場 多目的会議室	32 団体	・5 年度推進運動の実施報告 ・6 年度推進運動実施要領
R 7.3.13	県土美化推進県民 会議幹事会	(書面)	22 名	・6 年度推進運動の実施状況 ・7 年度推進運動実施要領 ・県土美化推進功労者の選考

2 基本財産等の状況

(1) 基本財産

(単位 ; 千円)

区 分	目 標 額	R 5 年度末 受領額	R 6 年度増減額	R 6 年度末 受領額
県	200,000	200,000	0	200,000
市町村	100,000	100,000	0	100,000
民 間	300,000	284,900	0	284,900
計	600,000	584,900	0	584,900

(2) 環境保全活動推進基金

(単位 ; 千円)

区 分	R 5 年度末 受領額	R 6 年度増減額	R 6 年度末 受領額
民 間	46,530	0	46,530

(3) 賛助会員

区 分	会 員 数	賛助会費額	備 考
個 人	166 名	292 千円	2,000 円／人
法人・団体	363 団体	7,710 千円	10,000 円／口
計	個人・団体	8,002 千円	